

## 協賛企業賞

### ヌートリアと日本生態系

赤坂小学校 山岸 瑞季

みなさんはヌートリアを知っていますか。「えっ、ヌートリアってなに。」と思う人も多いでしょう。ヌートリアは南アメリカから毛皮用として移入されました。しかし、人間の放置によって野生化し、強大ねずみとなってしまったのです。

私は、日本でこんなねずみが野生化してしまっていることにおどろきました。

いったい日本の自然はどうなっているのだろうかと思い、「ヌートリア」について調べてみることにしました。

ヌートリアのすみかは、河川や水路です。池の周辺に穴をほってすむこともあります。ヌートリアは、稲の苗、ブロッコリ、キャベツ、スイカ、ダイコンなど、色々な物を食いあらしめます。野菜は根もとあたりが、食べられやすいです。しかし、引きぬくことは、できません。地上に出ている部分をかじります。根元をほりかえして食べることはありません。そして、農家の人のなやみの種になっています。

人間へのひ害も出ています。よく、

「あつ、これってカピバラじゃない。」

と言ってさわったりする人もいます。しかし、ヌー

トリアは、かわいいですがきけんです。「ノミ」で削られたようなケガをおうかもしれないので気をつけなければいけません。手に水かきがついていることや、尾があることで見わけることができます。

野生化してしまった、日本にいるはずのない、ヌートリアのような動物たちをどうしたらよいか解決策を考えてみました。

見つけたら、かわいいそうですが捕獲し、処分してしまわないといけません。

私は、外来種も、とても大切な生き物だと思いますが、日本の生態系にひ害をあたえるものなら、処分しなければならぬと思います。もし、きちんと育てて、毛皮用に使用するのであれば、解決は、そう遠くはないでしょう。

これからも、日本の生態系をおびやかす、外来種は出てくるでしょう。作物や人間にもひ害をおよぼすでしょう。しかし、そのようなことにならないように、「必要なくなったら放置せず、もとの国に返すか処分する。」「むやみに外国から生き物をつれてこない。」など、できることをして、みんなが気をつけたいです。

私たちの力で、これからも、日本の美しい自然と生き物たちを守っていきましょう。